

令和5年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

健康福祉総務課

1 施設の概要等

施設名	広島県健康福祉センター		
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29		
設置目的	県民の健康づくり及び明るい長寿社会づくりの推進を図る。		
施設・設備	研修室、会議室、駐車場等 ※行政財産使用許可として、事務所利用等で関係団体が入居している部分を除く。		
指定管理者	7期目	R3.4.1~R 8.3.31	(公財)広島県地域保健医療推進機構
	6期目	H28.4.1~R 3.3.31	(公財)広島県地域保健医療推進機構
	5期目	H26.4.1~H28.3.31	(公財)広島県地域保健医療推進機構
	4期目	H24.4.1~H26.3.31	(財)広島県地域保健医療推進機構 ※H25.4.1 公益財団法人へ移行
	3期目	H23.4.1~H24.3.31	(財)広島県健康福祉センター ※H23.7.1 (財)広島県地域保健医療推進機構へ改組
	2期目	H20.4.1~H23.3.31	(財)広島県健康福祉センター
	1期目	H17.4.1~H20.3.31	(財)広島県健康福祉センター

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	研修室等 利用者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	利用状況	7期	R5	85,900人	50,155人	7,798人
R4			85,900人	42,357人	5,503人	△43,543人 (49.3%)
R3			85,000人	36,854人	△6,929人	△48,146人 (43.4%)
6期		R2	90,000人	43,783人	△42,761人	△46,217人 (48.6%)
		R1	90,000人	86,544人	644人	△3,456人 (96.2%)
		H30	90,000人	85,900人	△4,492人	△4,100人 (95.4%)
		H29	80,200人	90,392人	10,246人	10,192人 (112.7%)
5期		H28	78,000人	80,146人	4,247人	2,146人 (102.8%)
		H27	78,000人	75,899人	△3,089人	△2,101人 (97.3%)
4期		H26	78,000人	78,988人	533人	988人 (101.3%)
		H25	76,000人	78,455人	1,827人	2,455人 (103.2%)
3期		H24	75,000人	76,628人	△16,768人	1,628人 (102.2%)
		H23	87,357人	93,396人	△48人	6,039人 (106.9%)
2期平均 H20~H22		86,789人	93,444人	△13人	6,655人 (107.7%)	
1期平均 H17~H19		71,409人	93,457人	6,438人	22,048人 (130.9%)	
H16 (導入前)		—	87,019人	—	—	
増減理由	<p>○対前年度比 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、利用者は前年度よりも増加した。(+7,798人、+18.4%)</p> <p>○対目標値 平成30年度の利用者数を目標値としていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を機に対面形式からオンラインを活用した会議等への移行が進んだことや、民間の貸会議室やコワーキングスペースの充実等の影響もあり、コロナ禍前の水準まで回復しておらず、利用者数は目標値を大きく下回った。</p>					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査 実施 内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施（貸し会議室利用団体）	利用件数：1,120件 （うち 198件回答、利用件数は重複あり）
	入居団体意見交換会（6月・3月）実施	入居団体：10団体
	【主な意見】	【その対応状況】
	故障箇所が増えている。来館者のけがや事故につながり危険であるため、壊れる前に点検をしてほしい。	利用者のけがや事故が発生することがないように、定期的な点検により、故障箇所を把握するとともに、必要に応じた修繕を今後も実施していく。
	1階ロビーにあった新聞の備え付けを再開してほしい。	ロビーの新聞設置は、広島県地域保健医療推進機構の総合健診事業で健康診断に来られるお客様への待合サービスとして行っていたが、コロナウイルス流行や利用者のニーズ変化をきっかけに廃止したものであり、今後も再開の予定はない。
	大研修室を利用した際、利用直前で使用機器の変更について連絡があり、対処に困った。	再発防止のため、機器の点検を行うとともに、使用方法についてのマニュアル作成を行った。
	事前準備が必要な場合もあるため、会議室の鍵を早めに貸してほしい。	以前は、原則、8:30/13:00のチャイムが鳴ってからの貸出だったが、利用者からの要望があり、管理者が貸出可能な状態であれば早めの貸出にも対応している。
共用スペースでの立ち話が向かいの研修室・会議室まで響いてうるさい。	共用スペースや会議室前に掲示を行うとともに、状況に応じて直接注意喚起を行う。	

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書、収支実績書
	月報	○	施設利用状況
	日報（必要随時）	—	緊急連絡を要する事例の発生なし
管理運営会議（2回・現地）	【特記事項等】 ・指定管理者主催の会議に出席し、業務の実施状況等を確認 ・現地調査実施（令和6年4月） 【指定管理者の意見】 ・事業実施計画書に基づき、適切に実施		
現地調査（令和6年4月に実施）	【県の対応】 ・適切に管理運営が実施されていることを確認		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	7期	R5	29,778		△1,694	料金 収入 (決算額)	7期	R5
R4			31,472	3,432	R4	15,668			1,011
R3			28,040	△57,676	R3	14,657			1,800
6期		R2	85,716	52,416	6期	R2		12,857	△5,067
		R1	33,300	200		R1		17,924	△340
		H30	33,100	0		H30		18,264	654
		H29	33,100	0		H29		17,610	1,208
5期		H28	33,100	△60	5期	H28		16,402	719
		H27	33,160	0		H27		15,683	749
4期		H26	33,160	185	4期	H26		14,934	824
		H25	32,975	0		H25		14,110	△173
3期		H24	32,975	△85,061	3期	H24		14,283	△445
		H23	118,036	△1,716		H23		14,728	1,559
2期平均 H20～H22		119,752	△3,930	2期平均 H20～H22		13,169		483	
1期平均 H17～H19		123,682	△66,721	1期平均 H17～H19		12,686		2,643	
H16 (導入前)		190,403	—	H16 (導入前)		10,043		—	

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R5 決算額	R4 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収 入	県委託料	29,778	31,472	△1,694	臨時補填金の減少による減
		料金収入	17,373	15,668	1,705	コロナウイルス感染症の5類移行に伴う利用件数の増
		その他収入	727	993	△265	
		計(A)	47,878	48,133	△255	
	支 出	人件費	9,891	9,472	419	
		光熱水費	12,257	13,452	△1,195	国の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」特別措置による減
		設備等保守点検費	8,154	8,154	0	
		清掃・警備費等	5,609	5,053	556	
		施設維持修繕費	1,812	4,520	△2,708	
		事務局費	4,032	3,204	828	
		その他	0	0	0	
計(B)	41,755	43,855	△2,100			
収支①(A-B)		6,123	4,278	1,845		
自主事業 (※)	収 入(C)	0	0	0		
	支 出(D)	0	0	0		
	収支②(C-D)	0	0	0		
合計収支(①+②)		6,123	4,278	1,845		

※ 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">施設の効用発揮</p> <p>○施設の設置目的に沿った業務実績</p> <p>○業務の実施による、県民サービスの向上</p> <p>○業務の実施による、施設の利用促進</p> <p>○施設の維持管理</p>	<p>福祉・保健関係団体に対する早期予約受付を実施し、利用の促進を行った。</p> <p>エントランスホールでは、がん検診・禁煙等の啓発や情報提供を実施。入居団体と連携し健康レシピや各種チラシ・パンフレット等の利用者への配布や入居団体の普及啓発活動に有効活用した。</p> <p>令和3年度より実施の障害者施設の訪問販売は2ヵ月に1回のペースで継続しており、障害者の就労支援への理解の普及に貢献した。</p> <p>貸出備品の一部更新、また小規模会議室にディスプレイモニターを設置することで、高画質・省電力及び操作性の向上を図った。</p> <p>利用申込方法をメール及びFAXに加え、グーグルフォームからも可能にすることで、利便性を向上させた。</p> <p>建物機能の維持に必要な修繕や予防修繕等を実施。また県と連携し、大規模修繕を施工し、設備の維持管理に努めた。</p>	<p>施設の有効利用や施設利用者の確保に努めている。</p> <p>施設設置目的に沿った活動の実施により、利用者の施設利用促進に努めている。</p> <p>設備更新によるサービスの向上が図られ、利用者のニーズに沿った管理体制の構築が行われている。</p> <p>また、オンラインでの申込受入による利便性向上が図られている。</p> <p>定期点検を踏まえ、修繕箇所の把握と対応を実施。また、利用者の声を聞きながら施設の維持管理に努めている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">管理の人的基礎</p> <p>○組織体制の見直し</p> <p>○効率的な業務運営</p> <p>○収支の適正</p>	<p>受付担当、庶務担当を常時配置し、総務課職員のバックアップ体制を維持しながらサービスの質の向上を目指して職員一丸となって運営に努めた。</p> <p>こまめな消灯を職員・入居団体にも依頼するとともに管理者の立場でも実施した。利用状況・日中の寒暖差に応じた空調の設定などにより光熱水費を縮減した。</p> <p>小規模会議室にサーキュレーターを設置することで、室内温度の均一及び省エネを促進した。</p> <p>コロナの5類移行に伴う利用率の回復状況をみながら、緊急性の高い修繕などを行い、適正な収支となるよう努めた。</p>	<p>組織全体でサービス向上につながる運営体制を構築できるよう努めている。</p> <p>利用状況に応じ、無理なく省エネを推進しており、経費縮減に努めている。</p> <p>収支の適正化が図られている。</p>
<p style="text-align: center;">総括</p>	<p>利用者からのご意見やアンケート等により、改善できる点やサービス向上につながる提案については積極的に耳を傾け運用方法等を改善した。</p> <p>また、施設の認知度やイメージの向上につながる普及啓発活動を行い、利用促進を図った。</p>	<p>利用者数は、コロナ禍以前の数値までは回復していないものの、積極的に利用者を増やす取組が行われている。</p> <p>また、利用者アンケートを基に効果的な施設修繕や運用の改善を行うなど、適切な管理運営が行われている。</p>

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
<p>短期的な対応 (令和6年度)</p>	<p>引き続き入居する福祉関連団体との連携を図るため、入居団体との意見交換会を(年2回)実施し、入居団体の意見を運営に反映し、福祉保健の拠点としての役割を果たす。</p> <p>コロナ禍前に利用回数の多かった団体に対して、利用を促すとともに、予約方法のオンライン化など利用者の利便性向上に取り組み、利用者数の回復に努める。</p> <p>広島県就労振興センター等と連携して実施した障害者施設の昼食(調理パン等)訪問販売について、令和6年度も引き続き継続実施するため、近隣への掲示やSNSでの拡散を行うことでさらなる周知を図り、当施設の認知とイメージアップにつなげる。</p> <p>利用者の利便性の確保及び施設の安定的な運用を図るため、定期的に点検を行い、小規模修繕については指定管理者として迅速に行うとともに、大規模修繕については、県と連携し、緊急性の高い箇所から実施していく。</p>	<p>引き続き、入居団体との連携に対して、必要な協力等を行う。</p> <p>指定管理者と連携し、利用状況の分析を行うとともに、効果的な広報を実施することで利用数の増加に努める。</p> <p>健康福祉センターで実施するイベントの広報活動を積極的に行い、認知度向上と施設利用者増加に努める。</p> <p>点検により発見された修繕箇所への対応を協力して進めていき、利用者ニーズに沿った施設運用が図られるよう努める。</p>
<p>中期的な対応</p>	<p>設置から30年以上が経過し、高額な修繕の必要性が増えてくることから、県と緊密に連携し計画的な修繕実施等により利用環境の維持整備に努める。</p>	<p>利用状況や利用者のニーズ等を踏まえ、施設の老朽化に対して修繕計画に基づき必要な修繕を行い、利用環境の向上に努める。</p>